

# 新しい時代を拓く高大接続の「学び」とは

## — 京都からの発信 —

2013年

日時

**12月6日** 金 9:30~17:30

会場

**キャンパスプラザ京都**

高大連携教育フォーラムは、高校・大学間の連携・接続教育問題における「国内動向の情報共有・事例研究と京都における取り組みの情報発信」を開催趣旨として実施しています。

### 第1部

9:30~15:15

### 基調報告・実践事例紹介・特別講演

定員200名

開会挨拶 ● 9:30~9:35 北村 聡 氏 [京都高大連携研究協議会 運営委員長/京都外大西高等学校 校長]

#### 基調報告 9:35~10:00

報告者: 内村 浩 氏 [大学コンソーシアム京都 高大連携推進室長/京都工芸繊維大学 アドミッションセンター 教授]

京都市立洛陽工業高等学校

テーマ: **夢見る連携教育** — 先端に触れないと「山」が見えない —

報告者: 恩田 徹 氏 [京都市立洛陽工業高等学校 校長]

有本 淳一 氏 [京都市立洛陽工業高等学校 企画広報室長]

湘北短期大学

テーマ: **キャリア教育として実践する入学事前授業**

報告者: 小棹 理子 氏 [湘北短期大学 情報メディア学科 教授/リベラルアーツセンター 副センター長]

#### 実践事例紹介

10:00~12:15

京都市立塔南高等学校

テーマ: **京都市立塔南高等学校教育みらい科における高大連携の実践**

報告者: 古池 強志 氏 [京都市立塔南高等学校 校長]

若林 武史 氏 [京都市立塔南高等学校 企画推進部 部長]

大学コンソーシアム京都

テーマ: **京都府北部地域キャリア教育企画「まるっとくin綾部」での取り組み**

報告者: 筒井 洋一 氏 [大学コンソーシアム京都 高大連携推進室/京都精華大学 人文学部 教授]

司 会: 浜畑 芳紀 氏 [大学コンソーシアム京都 高大連携推進室/立命館大学 教育開発推進機構 教授]

\*各内容の詳細は、大学コンソーシアム京都WEBサイトをご覧ください。

【休憩】 12:15~13:15

#### 特別講演

13:15~15:15

テーマ: **対話による一人ひとりの知の創造から新しい高大連携の形を探る**

講演者: 三宅 なほみ 氏 [東京大学 大学発教育支援コンソーシアム推進機構 副機構長/大学総合教育研究センター 教授]

司 会: 山本 以和子 氏 [大学コンソーシアム京都 高大連携推進室/京都工芸繊維大学 アドミッションセンター 准教授]

今、時代は、現実生きて働く「知」力を求めている。その実現には、高校から大学へとつながる学びの過程の中で、一人ひとりが自分で考え、自分の考えを育てて行ける学び方の学びが必要になるだろう。その一つの試みとして私たち大学発教育支援コンソーシアム推進機構では、今「対話」に潜む学びの仕組みを活用して、高等学校での新しい授業づくりに取り組んでいる。一人ひとりの知の創造力を育てる授業改革から見えてくる新しい高大連携の形を参加者の皆様と一緒に検討したい。

### 第2部

15:30~17:30

### 分科会

※第2部の詳細は、裏面をご覧ください

定員各30名

第1分科会【表現技法】 テーマ: 学び合いの手法を使って、シンポジウムの議論を深める

第2分科会【数 学】 テーマ: 新教育課程の教育問題を考える

第3分科会【英 語】 テーマ: 新しい学力観に基づいた指導力を持つ人材育成のための高大連携

第4分科会【理 科】 テーマ: 高大連携による理科教育充実のための取組(京都物理グランプリ)

主催: 京都高大連携研究協議会

京都府教育委員会/京都市教育委員会/京都府私立中学高等学校連合会  
京都商工会議所/公益財団法人大学コンソーシアム京都

お問い合わせ先  
【火~土 9:00~17:00】

公益財団法人 大学コンソーシアム京都 高大連携事業部

〒600-8216 京都市下京区西洞院通塩小路下ル キャンパスプラザ京都(月曜休館)  
E-mail:kodai@consortium.or.jp URL:http://www.consortium.or.jp/  
TEL:075-353-9153(直) TEL:075-353-9100(代表) FAX:075-353-9101

お申込み  
方法は裏面を  
ご覧ください。

## 第2部 ● 分科会 15:30~17:30 [定員各30名]

### 第1分科会【表現技法】

◆テーマ  
学び合いの手法を使って、シンポジウムの議論を深める

ファシリテーター **筒井 洋一氏**  
(大学コンソーシアム京都高大連携推進室/  
京都精華大学 人文学部 教授)

本分科会の趣旨は、学び合いの手法を使って、実践事例紹介・特別講演における議論の深まりを図ることである。特別講演では登壇者が周辺の方との議論を始める予定であるが、本分科会ではその議論をさらに深めたい。すなわち、ここでは、登壇者と参加者との個別質疑をおこなわない。その代わりに、まず、参加者の中から議論を深めたいテーマを出していただき、次に、それについて議論したい参加者だけが集まって議論を深める。最後に、どのような議論になったかについて、テーマ毎に発表してもらい、全体で共有する。

なお、第1部登壇者も参加予定であるが、登壇者との質疑ではなく、むしろ登壇者も参加者と同じ立場で議論を深める。

### 第3分科会【英語】

◆テーマ  
新しい学力観に基づいた指導力を持つ人材育成のための高大連携

報告者1 **今川 佳紀氏**  
(立命館宇治中学校・高等学校 外国語科主任・専任教諭)

報告者2 **湯川 笑子氏**  
(立命館大学 文学部 教授)

コーディネーター **久保 敦氏**  
(立命館宇治中学校・高等学校 国際センター主任・専任教諭)

立命館大学文学部における英語科教諭志望学生・院生および立命館宇治中学校・高等学校英語科教諭を対象に、中学生・高校生の英語コミュニケーション能力を育成するための指導力向上を目的とし、様々な人事交流や教科指導交流等の取り組みを実施している。

大学は中学校・高校に対して、理論・教授法の紹介、中学校・高校の公開授業における助言、中学校・高校教諭対象の教職員系大学院科目の提供の教職科目の提供(予定)、一方、高校はインターン生の受け入れ、大学の講義や研修会へのベテラン教諭の人材派遣を行っている。また、教諭・常勤講師として卒業生を受け入れている。

この分科会では、それぞれの取り組みを具体的に示し、大学側及び中学校・高校側からのメリットを紹介していく。

### 第2分科会【数 学】

◆テーマ  
新教育課程の教育問題を考える

報告者1 **中村 央志氏**  
(京都市立塔南高等学校 教諭)

報告者2 **椋本 洋氏**  
(大学コンソーシアム京都 高大連携推進室/立命館大学 理工学部 講師)

コーディネーター **砂田 浩彰氏**  
(京都市教育委員会 指導部 学校指導課 主任指導主事)

新学習指導要領「数学編」では「数学的活動を重視する」ことが明記され、「自らの考えを数学的に表現し根拠を明らかにして説明したり、議論したりすること」に配慮するものとされている。しかしながら、高等学校の指導要領解説数学編には、中学校のように内容の中に位置づけられていない。また、活動の具体例も少ししか触れられていない。高等学校においては、新設の「課題学習」のみに位置づけられている。一方、数学の授業においては、教師が一方向的に教え込むのではなく生徒が主体的に数学的活動に取り組む形の授業改善が求められている。

そこで高校からの提案として、ICTを活用した授業実践例(最新のWeb技術を利用したWebアプリの開発とその授業実践)の報告、大学からは、活用型学力をどうつけていくかという視点から、思考力・表現力を高めるための数学的活動を取り入れた授業実践例の報告を行い、新しい数学教育の高大接続モデルの構築について考える。

### 第4分科会【理 科】

◆テーマ  
高大連携による理科教育充実のための取組(京都物理グランプリ)

報告者1 **大曲 健介氏**  
(京都府立亀岡高等学校 教諭)

報告者2 **常見 俊直氏**  
(京都大学 大学院 理学研究科 学術推進部 社会交流室 講師)

コーディネーター **遠山 秀史氏**  
(京都府教育庁 指導部 高校教育課 指導主事)

京都府教育委員会は、理数教育の充実を図る取組の一つとして、平成22年度から京都物理グランプリを開催している。京都大学の共催を得るなどして実施する本グランプリでは、京都物理コンテストと物理チャレンジ道場を実施している。前者は、高校教員と大学教員、大学院生・学生が協力して作成した問題に中学・高校生が挑戦するものであり、後者は、より発展的な探究実験に取り組むものである。

これらの取組を通して、大学教員と高校教員は、生徒が身に付けるべき科学的な知識・技能や思考力・判断力・表現力について議論しており、このことは高校・大学での「学び」の接続を考える上で大切な機会となっている。

この分科会では、1高校と1大学の連携にとどまらず、複数の高校や大学の有機的な繋がりのなかで実現される理科教育の可能性について意見交流を行いたい。

## 申込方法 ●先着順

大学コンソーシアム京都WEBサイトからお申し込みください。先着順となります。

**URL** <https://event.consortium.or.jp/kodai11/>

**【申込期間】** 10月8日(火)12:00~11月20日(水)17:00

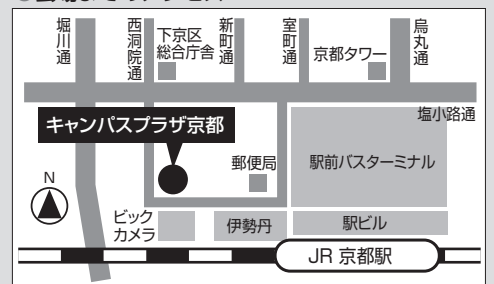
**【定 員】** 第1部/基調報告・実践事例紹介・特別講演 ..... 200名  
第2部/分科会 ..... 各30名

※第1部は全ての参加を原則としますが、午前のみ、あるいは午後のみ参加も可能とします。

**【参加費】** ・京都府内の高等学校・大学関係者 ..... 1,000円  
・上記以外の方(京都府内の企業参加者含む) ..... 2,000円

※当日受付にてお支払いください。 ※参加費については、レジュメ・資料集を含みます。

### ●会場までのアクセス



## 申込手順

申込手続き完了後の  
参加分科会の変更はできま  
せんのでご注意ください。

- ①上記URL、もしくは「公益財団法人 大学コンソーシアム京都」WEBサイトの「第11回高大連携教育フォーラム」のバナーから、「メールアドレス確認フォーム」にアクセスし、メールアドレスを入力・送信してください。
- ②送信いただいたメールアドレスに「参加申込フォーム」のURLをお送りします。
- ③記載のURLにアクセスし、画面の指示に従って申込手続きを行ってください。

※「参加申込フォーム」のURLの通知メールが届かない場合は、メールアドレス誤入力等の可能性がございます。その場合はお手数ですが「メールアドレス確認フォーム」にメールアドレスを再入力・再送信してください。

※申込手続き完了後に「申込完了メール」を送信します。翌日になっても申込完了メールが届かない場合は、ご面倒ですが大学コンソーシアム京都までお問い合わせください。